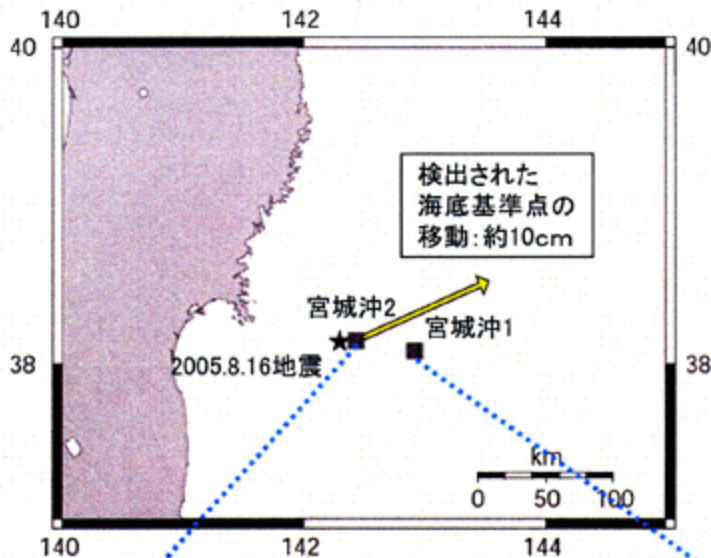
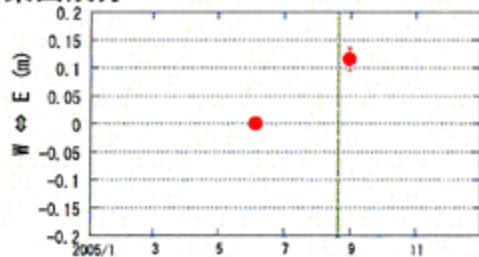


8月16日宮城県沖の地震前後の海底地殻変動観測結果(速報)



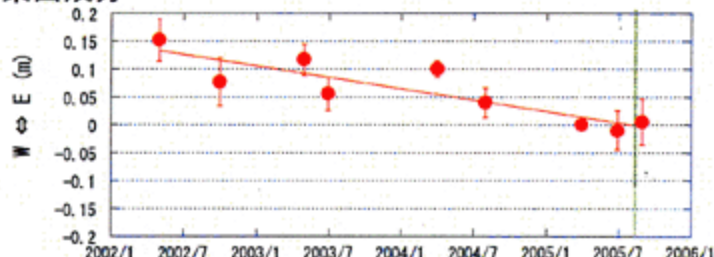
「宮城沖2」海底基準点

東西成分

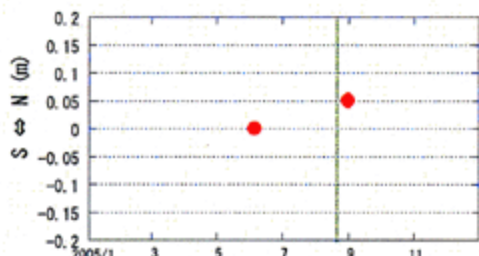


「宮城沖1」海底基準点

東西成分

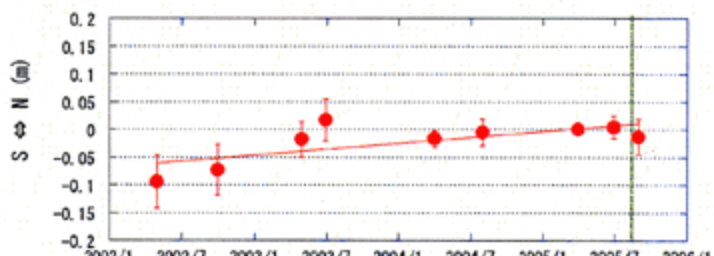


南北成分



↑ 地震発生

南北成分



地震発生 ↑

2005年6月、9月の2回の観測から得られた局位置解の水平成分の時系列を示す。地震後（9月）の座標値を、地震前（6月）の値と比較すると、東北東に約10 cmの移動に相当する差が見られる。

地震後を含む2002年からの局位置解の水平成分の時系列を示す。これによると、地震後の9月の観測結果はこれまでの変動傾向から外れるものではなく、地震に伴うと判断される明瞭な動きは検出されない。

「宮城沖2」海底基準点は、文部科学省のプロジェクト「宮城県沖におけるパイロット的重点調査観測」（平成14～16年度）の一環として設置したものである。